

図書館に関する話題 第19回

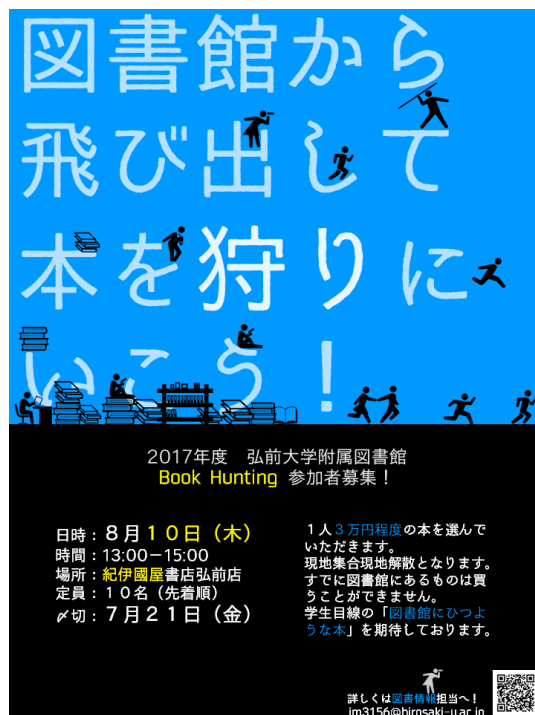
Book Hunting 開催

附属図書館資料管理グループ係長 佐々木 忠

8月10日(木)、紀伊國屋書店弘前店にて、Book Huntingを開催しました。Book Huntingというのは、学生が直接書店に出向いて、図書館に置いてほしい図書をその場で選ぶという企画で、選書ツアーと呼ばれることもあります。2008年頃より、多くの大学図書館で行われるようになりました。弘前大学附属図書館では、今回が初めての開催になります。

本館において購入する学生用図書は、各学部の教員に推薦を依頼したものが大部分を占めています。図書の選定方法ごとに貸出率を調査してみたところ、学生の選定で過去に購入された図書の貸出率が高いことがわかりました。(豊泉44号・45号参照) 今回のBook Huntingは、その調査結果を受けて企画されたものです。

先着10名の参加ということで募集をしたところ、最終的に6名の方が集まりました。内訳は人文学部4名・医学部2名で、所属学部には偏りが見られました。




図書館から
飛び出して
本を狩りに
いこう!

2017年度 弘前大学附属図書館
Book Hunting 参加者募集!

日時: 8月10日(木)
時間: 13:00-15:00
場所: 紀伊國屋書店弘前店
定員: 10名(先着順)
〆切: 7月21日(金)

1人3万円程度の本を選んでいただきます。
現地集合現地解散となります。
すでに図書館にあるものは買うことができません。
学生目線の「図書館にひつような本」を期待しております。

詳しくは図書館担当へ!
jin3156@hirosaki-u.ac.jp



参加者募集ポスター

選定作業は13時から15時までの2時間、途中休憩を挟んで行われました。書店の奥に選定した図書を置くためのテーブルが設置され、参加した学生は、用意された買い物籠を手に、思い思いに図書を選んでいました。主に専攻分野の図書を選ぶ人、文学作品を中心に選ぶ人、趣味に関する図書、書評などで話題の図書を選ぶ人と、多彩なラインナップとなりました。あらかじめ候補のリストを作ってきた人や、興味を引かれた図書をその場でどんどん選んでいく人など、選び方にも個性が見られました。事前に「雑誌、漫画、アイドルの写真集等は



選定中の様子

対象外」としていたのですが、グレーゾーンと思われる図書は、職員の判断を仰ぐということにしました。

なお、学生による選定としては現在、本館と医学部分館、共に購入希望図書の制度があり、図書館に入れて欲しい図書をリクエストすることができます。Book Hunting には、購入希望図書と比べて、冊数の制限がない(合計金額の制限はあり)、実際に図書を手にとって選べる、申込書を書かなくてもよい、といったメリットがあります。



参加した学生と選書した図書



本館新着図書コーナーでの展示

今回の Book Hunting で選んだ図書は、各館の新着図書コーナーに展示しました。また、附属図書館のホームページに図書のリストを(下記アドレス参照)掲載し、ワンクリックで貸出状況や所在を検索できるようにしました。



今年度第2回目の Book Hunting を 11月29日、ジュンク堂弘前店で開催しました。来年度も継続して開催する予定としておりますので、多数の参加者の応募を期待しております。

Book Hunting 選書リスト

http://www.ul.hirosaki-u.ac.jp/guidetop/BookHunting/2017_01BookHunting-list.pdf

(ささき ただし)